

推奨ルート案の
選定結果及び選定理由について

平成30年2月6日
沖縄県

1 比較評価結果を踏まえ、県民が対策案に求める視点

・対策案については、ステップ4における県民等から寄せられた意見において、以下のとおり様々な効果が期待されるとともに、環境影響等について配慮・留意が求められ、さらに選定に関しても、幅広い視点での検討が求められた。

期待する効果・ニーズ

1. 県土の均衡ある発展
 - ・那覇と名護を1時間で結び広域的な地域圏を形成することによる生活圏(通勤・通学等含む)、居住地選択、交流等拡大による本県の経済振興、各地域の活性化
 - ・全ての地域において利便性を享受
2. 県民及び観光客の移動利便性の向上 & 世界水準の観光リゾート地の形成
 - ・県民及び観光客全ての移動利便性の向上
 - ・速達性や定時性向上等による交通の改善及び充実
 - ・交通の充実による県民生活の向上
3. 交通渋滞の緩和及び低炭素社会の実現
 - ・自家用車及びレンタカー利用の減少
4. まちづくりへの寄与
 - ・公共交通の充実による駐留軍用地跡地及びまちの活性化

求められる配慮・留意事項

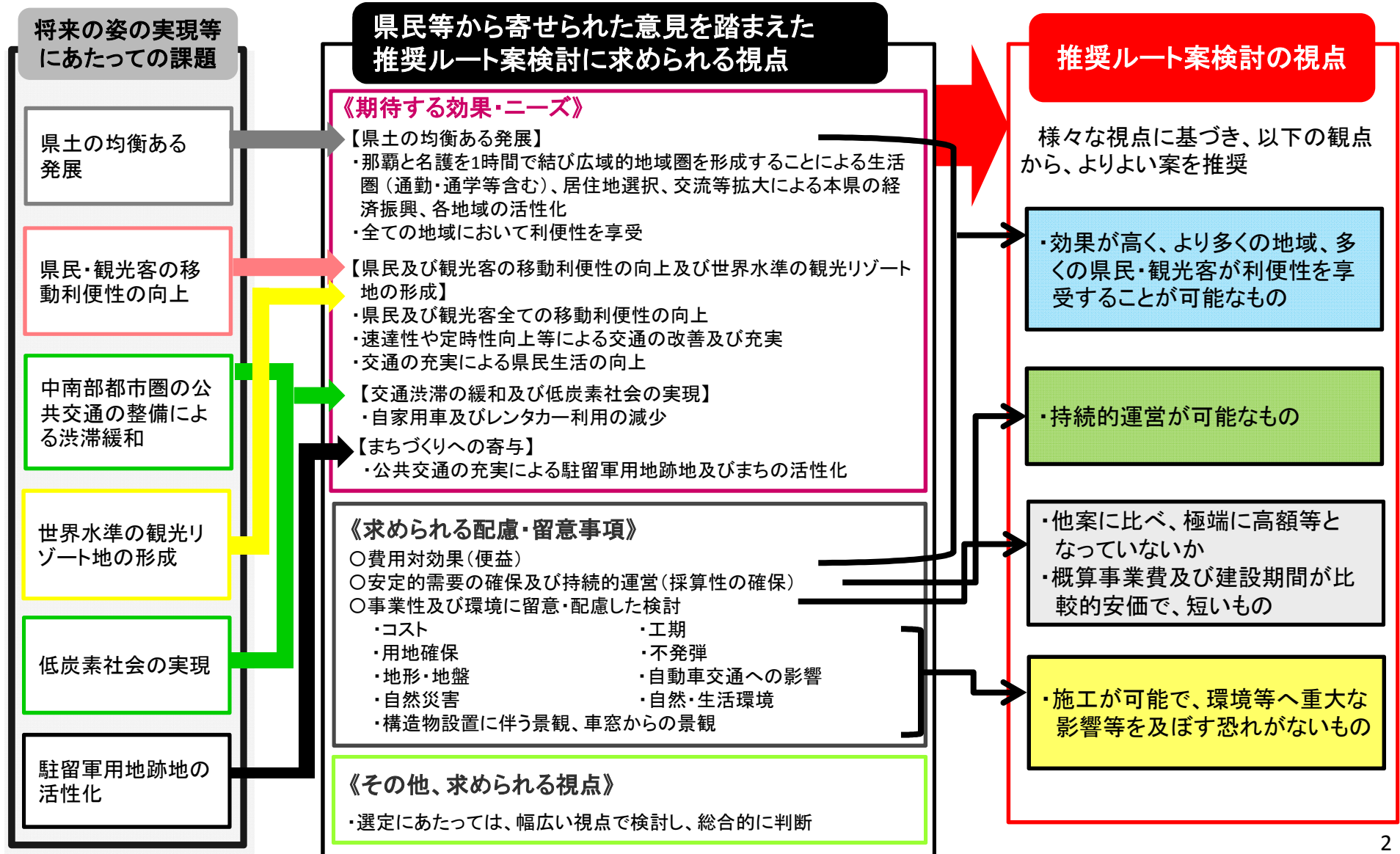
1. 安定的需要の確保
2. 持続的運営(採算性の確保)
3. 費用対効果(便益)
4. 事業性及び環境に留意・配慮した検討
 - ・コスト
 - ・工期
 - ・用地確保
 - ・不発弾
 - ・地形・地盤
 - ・自動車交通への影響
 - ・自然災害
 - ・自然・生活環境
 - ・構造物設置に伴う景観、車窓からの景観

その他、求められる視点

選定にあたっては、幅広い視点で検討し、総合的に判断

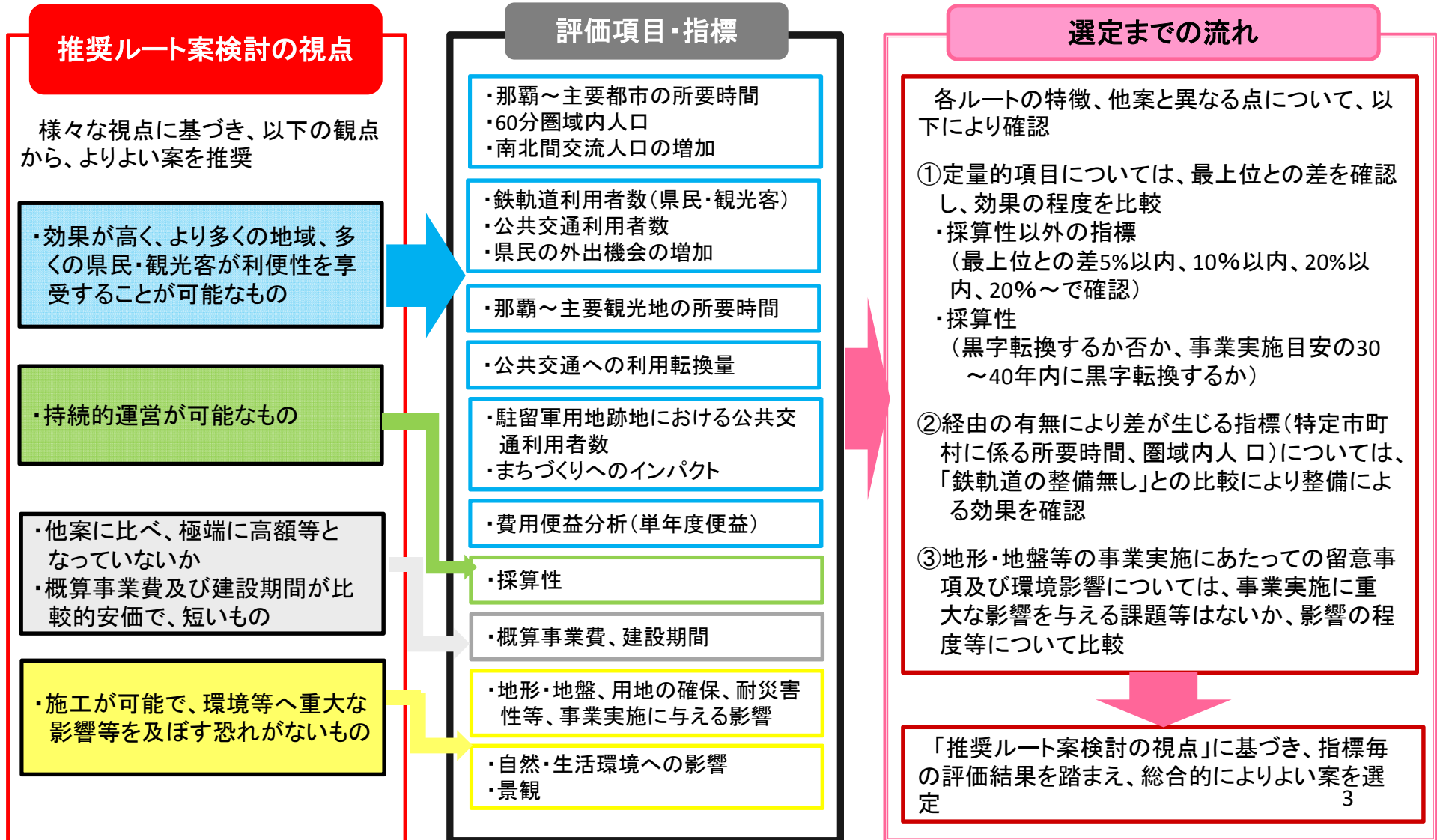
2 推奨ルート案検討の視点

・学資経験者で構成する沖縄鉄軌道計画検討委員会において、将来の姿の実現等にあたっての課題や県民等から寄せられた意見を踏まえ、「推奨ルート案検討の視点」として4つの視点を確認。



3 推奨ルート案検討の流れ

・計画検討委員会において、各ルートについて、「選定までの流れ」に基づき評価指標毎に効果の程度等を把握の上、「推奨ルート案検討の視点」を踏まえ、推奨ルート案を選定。



4 推奨ルート案選定結果

・以下の理由により「C派生案」が推奨ルート案として選定された。

推奨ルート案として「C派生案」を選定

推奨ルート案の選定理由

- ①人口及び宿泊施設が集積する地域を經由し、かつ中部の東西いずれの地域からのアクセスも良いため、鉄軌道および公共交通の利用者数、自動車から公共交通への利用転換量が特に多く、便益は最も高い。
時間短縮効果も一定程度期待でき、通勤・通学圏域の拡大効果も最も高く、より高い効果が期待できること
- ②採算性については、上下一体方式(既存の都市鉄道の事業スキームと同様に、鉄軌道事業者の3分の1負担を想定)では、採算は取れないものの、現在、県が国に求めている全国新幹線鉄道整備法を参考とした上下分離方式(インフラ部分は公的機関の全額負担による整備を想定)を適用した場合、事業実施の目安となる開業30年~40年内での累積資金収支の黒字転換が可能であること
- ③概算事業費や建設期間については、やや高く、比較的長いものの、極端に高額ではなく最新工法等の採用等によっては、事業費の縮減も期待される等、縮減に向けた検討の余地があること
- ④事業実施にあたっては、施工中の自動車交通や自然・生活環境への配慮等が必要であるものの、計画段階以降、設計・施工での対応等何らかの対策を講じることにより、重大な影響の回避、低減等が可能であること。